



秋沢中部小学校だより

せおと

平成23年9月8日 No.6 発行者 校長 岡崎紀子

撮影日 H23. 8. 29

どんな秋が好きですか？

夏休みが終わり、2学期がスタートしました。8月29日の初日には、37日前よりも心身ともにたくましくなった12人に会うことができたことを大変うれしく思います。日焼けして真っ黒になったり、身長が伸びて一段とたくましくなったり等変容に驚きました。始業式では一人ひとりが夏休みの思い出と2学期への決意を堂々と発表してくれました。いろいろな体験をして充実した夏休みを過ごしたことがわかりました。

2学期は、「心と体を鍛えましょう」を目標にがんばってほしいものです。教室での教科学習、運動会、ふれあい集会、街角の音楽会、チャレンジランキング大会等の取り組みを通して一人ひとりが自分なりの成長を確認することができたらいいですね。

ところで、皆さんは「ああ、秋だな。」とどんなときに感じますか？「秋きぬと 目にはさやかに 見えねども 風の音にぞ 驚かれぬる」(秋が来たとは目でははっきりとわからないけれども、戸をたく秋の風の音で「ああ、秋だ」と、はっと気がついたという意)という歌が古今和歌集にあります。スーパーには、1年中トマトやキュウリ等の野菜が並び、魚も旬がありますが冷凍保存されているのでいつでもバック詰めされて店頭と並んでいます。栗やミカンも早い時期から並んでいます。スーパーの食品からは季節を感じにくくなっています。温暖化で天気による季節感も曖昧になってきたような気がします。

しかし、秋は確実に近づいています。5年生が栽培しているバケツ稲の穂がだいぶ伸びてきました。ススキの穂も十五夜を待っています。秋の虫も大活躍です。これからの時代を生きる子どもたちにこそ身近な自然に触れて、景色が変わり、季節が変わったことを体感してほしいものです。自分が育ったこの中部の里が、我がふるさとの原風景として貴重な宝となる時がいつか必ず来るものです。私たち大人も季節を感じるゆとりを持ちたいものです。

大きくなりましたね！

6月21日に移植



8月30日に増し土



6月21日に一人3鉢の小菊の苗を植え付け早2ヶ月たちましたが、もう鉢の土が見えないくらい大きくなりました。夏休み中は、児童会で「一人が4回水やり当番」と決めて取り組みました。誰一人として忘れることなく、汗を拭き拭きがんばりました。お陰で左の写真のように大きく成長しました。そこで、根がしっかり張れるように赤玉土を入れると2、3日後にはもう白い根が伸びていました。

夏休み中、お子さんの体調が悪い時にはお母さんが代わりに来てくださったり、お兄ちゃんも手伝ってくださったり等、御家族の協力に感謝申し上げます。

水やりは、2学期も引き続いて児童会で取り組んでいくそうです。秋にはきれいな花が咲くのが楽しみです。

中部育成会キャンプ大成功

赤々と燃えるように井桁に組みましたが、残念



テントも7張、設営しましたが・・・



子どもと大人42名が参加しました。「カレーがうまいよ〜。」



8月6日(土)7日(日)には、本校を会場に育成会のキャンプが行われました。食材の買い出し、かまどづくり、テント設営、夕食朝食づくり等、中学生の班長を中心に一泊二日のキャンプ生活を楽しみました。雨天のためにキャンプファイヤーや花火大会、スイカ割りは中止になりましたが、夜の水泳は予定通り決行しました。「水の中がキラキラ光ってきれいだね。」と歓声を上げていました。テントを7張りも設営し、寝袋で寝る予定でしたが、雨が強くなり教室で寝ることにしました。次の日は、「ふれあいラジオ体操」がありましたので、6時には起床して地域の皆さんと一緒にラジオ体操もしました。

こうした地域の子ども総参加の行事は、今後も継続していきたいですね。これから高校に進学し、いつかこの地域を離れて生活することになったとしても、学校に泊まるという経験を懐かしく思い出してください。きっと“ふるさと中部”を愛し、大切に思う大人になることでしょう。

給食試食会

9月2日(金)には、給食試食会を行いました。家の人と一緒に給食を食べ、とても嬉しそうでした。いつもより食欲が増したようですか？中部小の残量は、毎日ごくわずかです。

感想は、「薄味とてもおいしかった。」「量もちょうどよい。」「和やかに食事をしていて安心した。」等でした。

お忙しい中御参加いただきまして、ありがとうございました。

